

# スモール・モンスタース・ジャパンの運用状況

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)

追加型投信/国内/株式

2020年10月8日

- 当ファンドの基準価額の騰落率は、今年4月月初から9月末時点で+61.4%と、小型株の代表的な指数の一つであるTOPIX Small指数(同期間: +20.6%)を上回って推移しています。
- 当レポートでは、コロナ禍でも良好なパフォーマンスを上げることができた要因(運用経過)や、今後の投資環境見通しと運用方針についてご案内致します。

## 1. 当ファンドの運用経過

足元の国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感が依然残るものの、各国政府による経済対策や中央銀行による金融緩和と政策などが好感されたことや、経済活動再開による景気回復期待が高まったことなどから堅調に推移しています。

当ファンドの運用につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に社会構造やライフスタイルが大きく変化する環境下で、利益成長率が高まると判断した銘柄を、今年4月以降積極的に組み入れました。その結果、当ファンドの基準価額の騰落率は、4月月初から9月末時点で+61.4%と、小型株の代表的な指数の一つであるTOPIX Small指数(同期間: +20.6%)を大きく上回って推移しています【図表1】。

コロナショック以降の戻り局面(期間: 2020年4月1日～9月30日)での基準価額の主な変動要因として、銘柄別では、巣ごもり消費を追い風とした業績拡大が好感されたクラウドファンディングサイト運営大手のマクアケや、不動産ビジネスにおけるデジタルシフトの恩恵を享受すると期待されたGA technologies、電子書籍事業の高成長が評価されたメディアドゥなどが基準価額に対しプラスに寄与しました。一方、電子チラシサービスの有料加盟店数の減少が嫌気されたロコガイドや、複数の医薬品開発案件の延期による業績への悪影響が懸念されたシミックホールディングスなどが基準価額に対しマイナスに影響しました【図表2】。

## 2. 今後の投資環境見通しと運用方針

今後の株式市場は底堅い展開になると予想します。新しい生活様式が追い風となっている企業の業績は好調を維持し、コロナ禍が逆風となっていた企業の業績も最悪期を脱する見通しです。米国の大統領・議会選挙を前に米中対立の激化や政治的な不透明感が高まる展開も想定されますが、調整局面では日銀の上場投資信託(ETF)買いが相場の下支えとなるため、下値リスクは限定的と見ています。

当ファンドの運用につきましては、中小型・新興市場株の中から、高い技術力や優れた商品開発力、独自のビジネスモデルなどに着目し、積極的な企業取材を通じて中長期的な利益成長が期待される企業に厳選投資する方針です。また、短期的な業績動向や株価動向に応じた組入比率の調整を行うことで、パフォーマンスの向上を目指してまいります。

【図表1】基準価額と株価指数の推移

期間: 2020年4月1日～2020年9月30日



※ 基準価額とTOPIX Small指数は2020年3月31日を100として指数化。  
 ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

【図表2】基準価額に寄与した主な銘柄

期間: 2020年4月1日～2020年9月30日

プラス寄与	マイナス影響
マクアケ	ランサーズ
GA technologies	ロコガイド
JMDC	北の達人コーポレーション
メディアドゥ	シミックホールディングス

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

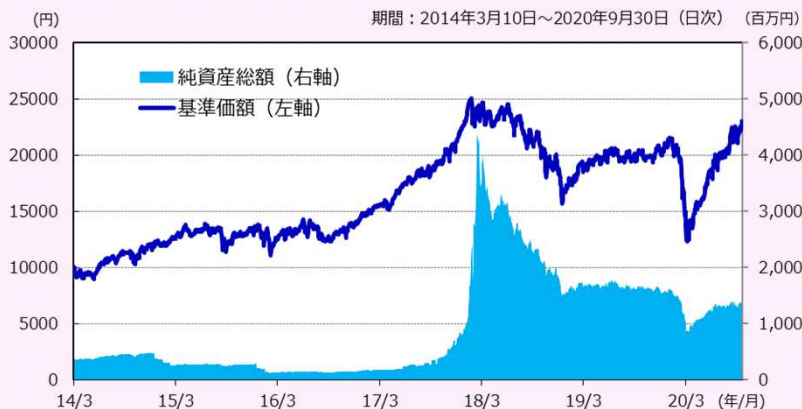
■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)  
追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日：2020年9月30日)

設定来の基準価額の推移



- ※ 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
- ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
- ※ 設定日の純資産総額は、当初設定元本総額です。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドの状況

基準価額	22,864円
純資産総額	1,379,998,272円
株式組入比率	96.4%
組入銘柄数	32銘柄



組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	情報・通信業	25.6 %
2	サービス業	16.3 %
3	小売業	13.3 %
4	電気機器	8.9 %
5	不動産業	8.2 %
6	機械	7.8 %
7	医薬品	6.1 %
8	化学	3.5 %
9	電気・ガス業	3.4 %
10	精密機器	3.1 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	4483	JMDC	5.7 %
2	3182	オイシックス・ラ・大地	5.3 %
3	4427	EduLab	4.7 %
4	3491	GA technologies	4.5 %
5	3134	Hamee	4.5 %
6	4552	JCRファーマ	4.4 %
7	7034	プロレド・パートナーズ	4.0 %
8	3276	日本管理センター	3.7 %
9	6093	エスクロー・エージェント・ジャパン	3.6 %
10	3333	あさひ	3.5 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部中型株	3.5 %
東証1部小型株	54.3 %
東証1部その他	0.0 %
東証2部	3.4 %
JASDAQ	0.0 %
東証マザーズ	35.1 %

- ※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン) ファンドの特色

- ◆ 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
- ◆ 株式の投資にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴のあるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、飛躍的な成長が期待される企業の株式を選別します。
- ◆ 株式の組入比率は、高位を保つことを基本とします。
- ◆ 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。



(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)  
追加型投信／国内／株式

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時  
購入時手数料：ありません。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中  
運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率0.935%（税抜0.85%）
  - その他費用・手数料  
監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
  - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

## 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
立花証券株式会社	関東財務局長(金商)第110号	○		○	
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社ジャパンネット銀行	関東財務局長(登金)第624号	○		○	

＜本資料に関するお問合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)